

## 第6回子ども学会議(学術集会)のご案内

テーマ 子ども・環境・脳科学

研究者、教育者、保育関係者、子育て中の親といった子どもに関心のある誰でもが参加できる学際的な場の提供、という子ども学会の原点に戻って、子どもと子どもが生活する環境に関する課題を幅広く話し合える学会を目指しています。多くの皆様の参加をお待ちしております。

日 程：2009年9月12日(土)・13日(日)

会 場：お茶の水女子大学

大会推進委員長：内田伸子(お茶の水女子大学教授)

### プログラム

#### ★9月12日(土)

- 代表講演「チャイルド・ケアリング・デザイン」  
小林 登(日本子ども学会代表)
- 基調講演「子どもが忌避される時代(仮題)」  
本田和子(お茶の水女子大学元学長、名誉教授)
- ポスターセッション
- シンポジウム①「いま、早期教育を考える」  
オーガナイザー：安藤寿康(慶應義塾大学文学部教授)
- シンポジウム②「子どもとゲームをめぐる過去・現在・未来」  
オーガナイザー：沢井佳子(チャイルド・ラボ所長)

#### ★9月13日(日)

- シンポジウム③  
「良質のチャイルド・ケアリングとは(仮題)」  
オーガナイザー：一色伸夫(甲南女子大学教授)
- シンポジウム④  
「公募シンポジウム」
- 鼎談「狼少女はいなかった」  
鈴木光太郎(新潟大学教授)、内田伸子ほか

\*上記のプログラムは変更となることもありますので、学会ホームページでご確認ください。  
シンポジウムの公募およびポスターセッションの募集についてもホームページをご参照ください。

## 『チャイルド・サイエンス Vol.6』 投稿論文部門 原稿募集

日本子ども学会では、学会誌「チャイルド・サイエンス Vol.6」に関して、以下2つのジャンルの投稿原稿を募集いたします。

- 1) 「研究論文」：いずれかの専門領域の理論と方法を背景としつつ、子どもに関する学際的な研究をまとめたもの。10000字以内かつ刷り上がり5ページ以内。
- 2) 「研究ノート」：子どもをめぐるさまざまな事実や状況を検討して研究の課題を提示したり、問題領域や方法が未成熟であるが、子ども学として確立していくべき研究の方向性を示したりする萌芽的な研究や展望、提言など。8000字以内かつ刷り上がり4ページ以内。

- 投稿資格／単著の場合は著者本人が、共著の場合は筆頭著者が「日本子ども学会」の会員であること
- 採 否／編集委員および査読担当者の審査によって決定します
- 締め切り／2009年9月末日必着
- 発 刊 日／2010年3月末日
- 送 り 先／日本子ども学会編集部 kinoedit@ybb.ne.jp  
なお、当学会が求めている論文の内容についてや投稿種別、査読体制、執筆要項に関する詳細は、学会ホームページをご参照ください。